

韓国で口蹄疫の発生を確認!

今一度、本病の発生予防を徹底しましょう!

韓国では、現在、広範囲の地域で口蹄疫（O型及びA型）の発生が続けて確認されており、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

過去の日本での発生をみると
まず韓国で発生しています!



2000年 → 2000年

2002年

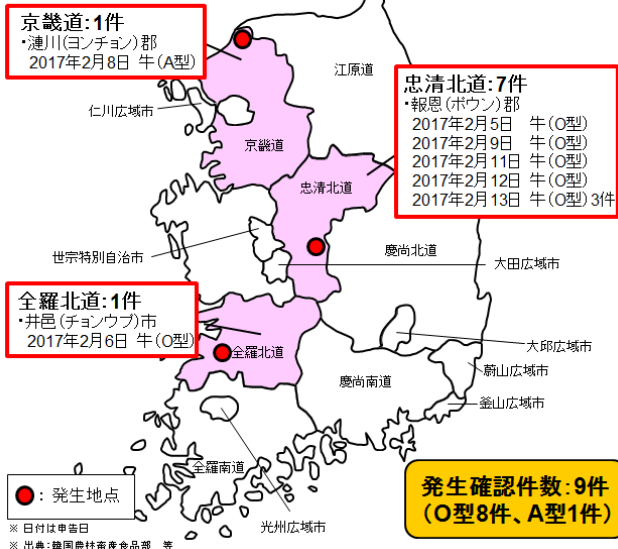
2010年
2011年 → 2010年

2014年
現在 →

侵入する可能性
は非常に高い!!

韓国における口蹄疫の発生状況
(2017年2月以降)

2017年2月14日現在



発生予防の徹底をお願いします!

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- 農場に持ち込む**物品**や**出入りする車両の消毒**を徹底しましょう。
- 農場や畜舎の出入口に**踏込消毒槽**等を設置することにより、出入りする人の**靴底の消毒**を徹底しましょう。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これら国の農場からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないようにしましょう。
- 毎日、飼養家畜の健康観察**を行いましょう。



効果的な消毒を実施しましょう!

- ◎ 効果的な消毒のポイント
 - ・ 踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れてしまうことから、**まずは汚れを落としてから消毒**すること。また、**消毒薬が汚れている**ことに気づいたら、**直ちに交換**すること。
 - ・ 農場に出入りする車両の消毒では、タイヤのみを消毒するのではなく、**泥よけの内側部分や運転席の足元スペース**も可能な限り消毒すること。

推奨される
踏込消毒槽の設置方法



《要注意》

- ★ **逆性石けんは口蹄疫の消毒薬としては不適**です!
- ★ 消毒効果が弱まるので、**酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しない**こと!

疑わしい症状は直ちに通報を!

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**よだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水ぶくれ**ができるのが主な特徴です。

～牛の症状～



～豚の症状～



写真: 宮崎県提供

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に連絡しましょう。

連絡先:

最寄りの家畜保健衛生所の
連絡先を記入しておきましょう!